

表1 平均正答率・数

小学校6年	町平均	国平均	問題数
	(上段) (下段)	平均正答率 平均正答数	
国語A	72%	73%	15問
	10.7問	10.9問	
国語B	54%	58%	10問
	5.4問	5.8問	
算数A	75%	78%	16問
	12.0問	12.4問	
算数B	42%	47%	13問
	5.4問	6.1問	

中学校3年	町平均	国平均	問題数
	(上段) (下段)	平均正答率 平均正答数	
国語A	72%	76%	33問
	23.8問	25.0問	
国語B	61%	67%	9問
	5.5問	6.0問	
数学A	58%	62%	36問
	20.7問	22.4問	
数学B	40%	44%	15問
	6.0問	6.6問	

※A・Bの意味 A…主として知識を問う問題 B…主として活用を問う問題
 ※文科省の公表方針にならない「正答率」は整数で表記してあります。

【実施概況】

※町内全小・中学校が実施

○小学校6年生
 ・全国(公立) 1,021,910名
 ・那須町 159名

○中学校3年生
 ・全国(公立) 996,578名
 ・那須町 195名

【調査の内容】

○教科に関する調査(国語、算数・数学)
 ・A問題(主として「知識」に関する問題)
 ・B問題(主として「活用」に関する問題)

○生活習慣や学校環境に関する質問紙調査

平成28年度の「全国学力・学習状況」調査結果

【教科に関する調査から】

本町の児童生徒の学力は、全国平均と比較すると「同じ」か「やや低い」状況にあります。(表1)

全国的な傾向として、下位県の成績が全国平均に近づく状況が見られ、学力の底上げが図られています。それぞれの教科別に見られた課題については、今後学力向上推進委員会等で分析を行い指導に活かすとともに、授業改善や学校全体での取り組みを着実に図っていきます。

【質問紙調査から】

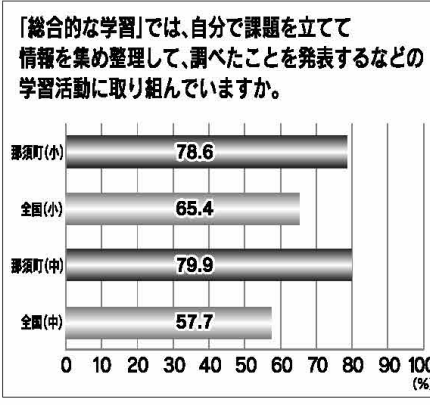
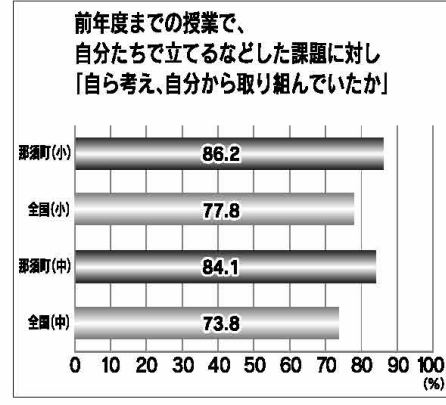
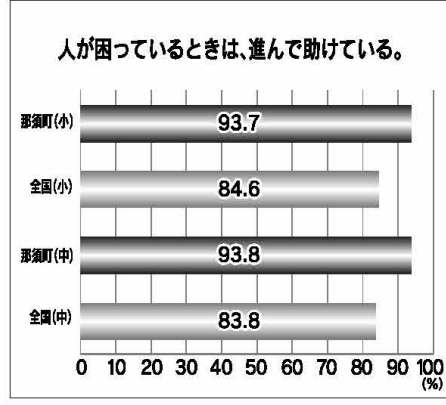
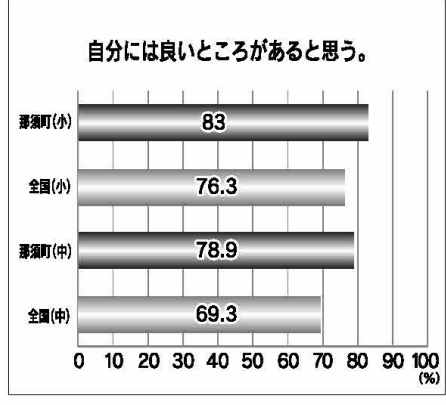
本町の児童生徒は全国と比較して「自分には良いところがあると思う」、「将来の夢や目標をもって」という質問項目においては小中学校ともに引き続き、全国平均を上回っています。

全国と比較して特長的な項目として「今住んでいる地域の行事に参加している」、「人が困っているときは、進んで助けている」といった項目では全国値を大幅に上回っています。

今回初めて、子どもが主体的に学ぶアクティブラーニングの取り組み状況に関する質問項目が追加されました。また、そのような学びの要となる総合的な学習に関する質問項目においても全国平均を大きく上回っています。

【夢・感動あふれる人づくりへの取り組み】

町では「夢・感動あふれる人づくり」のスローガンのもと、子どもたちの「知(確かな学力)」「徳(豊かな心)」「体(健やかな体)」「コミュニケーション(豊かな関わり合い)」の4領域をバランスよく育てる教育を行っています。その基盤となる「那須町版コミュニケーション」も導入から三年目を迎え、それぞれの学校において、様々な



特色ある活動が行われています。学校行事や教科での地域人材の活用はもちろんです。「総合的な学習の時間」における活用場面も多く見られます。その成果が本調査結果にも多面的に表れてきています。子どもが主体的に学ぶアクティブラーニングの充実に向けて「那須町版コミュニケーション」と「総合的な学習の時間」の充実はより重要になると考えられます。今後とも、那須町の子どものより良い成長のために、ご理解とご協力をお願いします。

▼問合せ 学校教育課 学校教育係
 ☎ 6922

